

機動戦士ガンダム 閃光のハサウェイ (2020)

メディア 映画 アニメ
ジャンル SF ロボット
製作国 日本
色彩 Color
時間 95分
初公開日 2021/06/11
公開情報 松竹ODS事業室
映倫 G

【解説】

ロボットアニメの金字塔「機動戦士ガンダム」の宇宙世紀シリーズを新たに描く一大プロジェクト「UC NexT 0100」の第2弾として制作された劇場アニメーション。「ガンダム」シリーズの生みの親である富野由悠季が手がけた1989年出版の同名小説を、全3部作の劇場版として映像化する。本作はその第1作。第二次ネオ・ジオン戦争（「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」）から12年後の宇宙世紀0105年を舞台に、アムロとシャアの意志を受け継いだ青年ハサウェイ・ノアの新たな闘いを描く。監督は「虐殺器官」の村瀬修功。

宇宙世紀0105年。第二次ネオ・ジオン戦争（シャアの反乱）から12年が経過した地球では、腐敗した地球連邦政府によって汚染が加速し、不条理な“人狩り”政策により民間人が宇宙へと強制連行させられていた。そんな連邦政府に対し、反地球連邦政府組織“マフティー”は連邦政府高官の暗殺を実行。リーダーのマフティー・ナビユ・エリンのもと過激な行動を開始するが、彼の正体は、連邦軍大佐ブライト・ノアの息子、ハサウェイ・ノアだった。ハサウェイは、アムロ・レイとシャア・アズナブルの意志を受け継いだ戦士として人類の希望になろうとするが、連邦軍大佐ケネス・スレッジや謎の美少女ギギ・アングルシアとの出会いにより、彼の運命は大きく変わっていく。

【クレジット】

| | | |
|--------------|--------------------------------|---------|
| 監督 | 村瀬修功 | |
| プロデューサー | 小形尚弘 | (サンライズ) |
| 原作 | 富野由悠季 矢立肇 | |
| 脚本 | むとうやすゆき | |
| キャラクターデザイン原案 | 美樹本晴彦 | |
| キャラクターデザイン | pablo uchida 恩田尚之 工原しげき | |
| メカニカルデザイン原案 | 森木靖泰 | |
| CGディレクター | 増尾隆幸 藤江智洋 | |
| メカニカルデザイン | カトキハジメ 山根公利 中谷誠一 玄馬宣彦 | |
| 撮影監督 | 協顯太郎 | |

| | | |
|------|--------------|------------------------------|
| 美術監督 | 中村豪希 | |
| 色彩設計 | すずきたかこ | |
| 編集 | 今井大介 | |
| 録音演出 | 木村絵理子 | |
| 音楽 | 澤野弘之 | |
| 主題歌 | [Alexandros] | [Alexandros] |
| 音響演出 | 笠松広司 | |
| 声の出演 | 小野賢章 | ハサウェイ・ノア (マフティー・ナビ ユ・エリン) |
| | 上田麗奈 | ギギ・アンダルシア |
| | 諏訪部順一 | ケネス・スレッジ |
| | 斉藤壮馬 | レーン・エイム |
| | 津田健次郎 | ガウマン・ノビル |
| | 石川由依 | エメラルダ・ズーピン |
| | 落合福嗣 | レイモンド・ケイン |
| | 武内駿輔 | イラム・マサム |
| | 松岡美里 | ミヘツシャ・ヘンス |
| | 沢城千春 | ミツダ・ケンジ |
| | 種崎敦美 | メイス・フラワー |
| | 山寺宏一 | ハンドリー・ヨクサン |